教育目標『よく学び、よく遊び、思いやりの心を大切にする菅原小の子どもたち』

菅原小だより

第12号

枚方市立菅原小学校 校 長 牧 野 好 秀

令和6年1月21日

令和5年度 学校教育自己診断 集計結果 《児 宮アンケート》

昨年12月に学校教育自己診断(学校アンケート)として、児童アンケートを実施いたしましたので、集計結果を以下の通り、ご報告いたします。

アンケートの各質問項目に対して「A: そう思う

B:やや思う C:あまり思わない D:思わない」の4段階評価での回答となっております。下記の表は回答結果の数値の小数点以下を四捨五入し、百分率で表示しています。また、「A:そう思う B:やや思う」を肯定的回答として、合算 (A+B) した数値を表の右端欄に表示しています。尚、四捨五入した数値の表示のため、合計数値が100%になっていない質問項目がありますが、ご了承ください。

A: そう思う B: やや思う C: あまり思わない D: 思わない

質問			В	С	D	A + E	3
1	学校へ行くのが楽しい。	59	29	8	4	88	
2	先生や友達の話をしっかり聞けた。	56	38	5	1	94	
3	忘れ物をしないように気をつけた。	47	36	14	3	83	
4	友達や先生など、身の回りの人にあいさつができた。	51	31	13	5	82	
5	友達となかよく遊べた。	75	18	4	2	94	
6	給食はおいしく食べた。	76	17	4	2	93	
7	友達と協力し、清掃や給食などの係や当番の仕事がきちんとできた。	68	25	5	2	93	
8	みんなの物を大切にするように心がけた。	69	25	4	2	94	
9	集団登校や下校の約束をきちんと守った。	65	25	7	3	90	
10	学校のきまりを守っている。	61	33	5	2	94	
11	運動会や遠足、キャンプ、修学旅行などの学校行事は楽しい。	88	8	3	2	96	
12	台風や地震・火事などが起こったとき、どうしたらよいか教えてもらっている。	80	14	4	2	94	
13	落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる。	52	35	9	4	87	
14	先生は困ったときにいつでも相談にのってくれる。(学習でわからないところを教えてくれる)	73	22	3	2	95	
15	先生は、自分たちの意見や考えを大切にしている。	72	23	4	2	95	
16	授業は、わかりやすい。	71	22	4	3	93	
17	授業でよくタブレットを使っている。	51	38	9	2	88	
18	タブレットを使った授業はわかりやすい。	63	29	5	3	92	
19	授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている。	70	24	4	2	94	
20	授業中、ペアやグループで話し合う活動を行っている。	61	30	6	3	91	
21	授業を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	45	37	13	5	82	
22	授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っている。	49	37	12	3	85	
23	授業や給食で、食の大切さを学んでいる。	70	25	4	2	95	
24	自分には、良いところがあると思う。	56	27	9	9	82	
25	自分の夢や目標を持っている。	67	19	7	7	86	
26	家で、学校の授業の復習をしている。	36	35	20	9	71	
27	家で、自分で課題を見つけて学習している。	40	36	17	8	76	
28	家で、自分で計画を立てて学習している。	43	31	18	9	74	
29	家での学習(宿題)は、学校の授業とつながっている。	60	30	7	4	90	
30	学校の授業時間以外に、普段(月~金)、1日どれくらいの時間、勉強をしていますか。 ①3 時間以上 ②2~3 時間 ③1~2 時間	1	2	3	4	5 (6
	④30分~1時間 ⑤30分以下 ⑥全くしない	13	12	21	37	13	4

≪アンケート結果についての考察≫

1. 友だちとの関わりについて

肯定的回答

設問	4	「友達や先生など、身の回りの人にあいさつができた。」	82 %
設問	5	「友達となかよく遊べた」	94 %
設問	7	「友達と協力し、清掃や給食などの係や当番の仕事がきちんとできた」	93 %
設問	8	「みんなの物を大切にするように心がけた」	94 %

子どもたちは、学級活動を始め、様々な教育活動の中で大切な人間関係づくりを学んでいます。 その中で「挨拶すること」「友だちと仲よく遊ぶこと」「協働すること」「自分のものや共同で使う ものを大切にすること」など、学校生活の中で友だちとの様々な関わりや集団活動を通して、子 どもたち同士のより良い関係づくりに努めています。

学校では、「挨拶や感謝の気持ちなどを言葉や行動で表すこと」の大切さ等について、折に触れて、話をし、特に、学校生活の基盤と学級の中で経験し、できることを体験し、自分自身に自信を持ち、身につけています。それは、ご家庭での子どもへのご指導もあり、自ら進んで挨拶したり、感謝の言葉を伝えたりする子どもも増え、嬉しく感じています。

今後も、子どもたちが、「挨拶を基本としたコミュニケーション」「約束を守ること」や「責任を持って行動すること」、さらに「力を合わせて取り組むこと」などの行動や関係を大切にし、社会性が育まれ、成長へと繋がるよう、すべての教育活動を通して、働きかけていきたいと思います。

2. 授業での学習状況等について

設問 2	「先生や友だちの話をしっかり聞けた」	94%
設問13	「落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる」	87 %
設問14	「先生は困ったときにいつでも相談にのってくれる。	
	(学習でわからないところを教えてくれる) 」	95%
設問15	「先生は、自分たちの意見や考えを大切にしている」	95%
設問16	「授業は、わかりやすい」	93 %
設問17	「授業でよくタブレットを使っている」	88 %
設問18	「タブレットを使った授業はわかりやすい」	92%
設問19	「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている」	94%
設問20	「授業中、ペアやグループで話し合う活動を行っている。」	91 %
設問21	「授業を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」	82%
設問22	「授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っている」	85 %

各学級での子どもたちとの信頼関係や子どもたち同士の好ましい人間関係を基盤とし、それぞれの授業おけるタブレット等の ICT 機器の活用等、指導方法を工夫し、子どもたちが、興味・関心を持てるよう進めているところです。また、子どもたちも、意欲的、積極的に授業に参加し、様々な取組みや学習を深めるよう努めています。その姿は、高学年へと上がるほど、集中度が高まり、ペアやグループでの話し合う活動においてもしっかりと意見交流ができ、自分の考えを深めたり、広めたりすることができています。

今後も、「確かな学力」の育成に向けて、「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養など、学習指導要領で示されている、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けられるよう、取り組んでまいりたいと思います。そのためにも「信頼関係に基づく温かな学級づくり」をしっかりとめざし、子どもたち一人ひとりを大切にしたきめ細かな指導を進めていきたいと思います。

3. 家庭学習について 肯定的回答

設問26	「家で、学校の授業の	復習をしてい	る」		71 %
設問27	「家で、自分で課題を	見つけて学習	している」		76 %
設問28	「家で、自分で計画を	立てて学習し	ている」		74%
設問29	「家で、学習(宿題)	は、学校の授	業とつながっている」		90 %
設問30	「普段(月~金)、1	日どれくらい	の時間、勉強をしてい	(ますか)	
	①3時間以上	8 %	②2~3時間	15 %	
	③1~2時間	26%	④30分~1時間	34 %	
	⑤30分以下	14 %	⑥全くしない	4%	

家庭学習の状況の回答結果は、昨年度より上昇していますが、子どもたちの意欲的な姿勢からまだまだ向上できると考えています。学校では、高学年に上がる程、学習への意識、意欲や授業に対する集中度も高まり、積極的な姿勢も見られます。家庭学習に取り組む方法については、特に、5年生及び6年生では、子ども自身が、自らを振り返り、自分の課題、伸ばしたい箇所、そして授業の復習等も含めて考え、学習内容、方法や時間等を計画し、取り組んでいます。今後も、ご家庭のご協力をいただきながら、子どもたちが見通しを持って、自ら考え、進んで学習に取り組み、学びに向かう力を育むことができるよう、働きかけていきたいと思います。

4. 児童自身について

設問24「自分には、良いところがあると思う」 82 % 設問25「自分の夢や目標を持っている」 86 %

令和4年度全国学力学習状況調査(6年生対象)における同様の質問に対する肯定的回答は、 全国的平均として、どちらも約80%の結果でした。本アンケートの対象は、全校児童であり、 その違いはありますが、同程度あるいはそれ以上の結果となっています。

すべての教育活動(授業、行事、係活動や清掃活動等)を通して、教職員と子ども、子ども同士 の温かい人間関係の中で、やるべきことは最後までやり通していくことの大切さや楽しさを学ん でいます。

今後も、様々な取組みの中で、子どもたちの頑張り、成長や良い面などを認め、子どもが自分自身の良さ(肯定的な面)に気付くよう働きかけるなど、子どもの自己肯定感や自己有用感を育んでいきたいと思います。また様々な活動や取り組みの中で小さな目標を持ち取り組んでいくことで、自信を付けたり、失敗をしても再挑戦したり、忍耐強く取り組んだりなど、「生きる力」を少しずつ身に着け、将来を見据えた夢や目標を抱くことができるよう、教育活動を進めていきたいと思います。

5. 給食や「食」について

肯定的回答

設問 6 「給食はおいしく食べた。」93 %設問 2 3 「授業や給食で、食の大切さを学んでいる。」95 %

毎日の給食では、給食当番の子どもたちが給食室にクラス分の給食を取りに行きます。その際に、子どもたちは、担任の先生と一緒に「いただきます」、「ありがとうございます」などとおいしい給食を作ってくれた栄養士さんや調理員さんたちへ感謝の気持ちを伝えています。また、栄養士の先生が、給食チャンネルで給食委員の子どもたちからのメッセージや調理員さんたちの調理する様子等を動画で配信したり、「食育」の授業を行ったりなど、子どもたちに「食べることの大切さ」「栄養バランスを考えて食べること」等を伝えています。子どもたちが「食べることの大切さ」を学ぶ良い機会となっていると思います。

今後も、食育は、生きる上での基本であり、「知育・徳育・体育」の基礎として、子どもたちが 健全な食生活を実践できるよう働きかけていきたいと思います。

6. 学校生活全般にいて

設問 1 「学校へ行くのが楽しい」88 %設問 1 0 「学校のきまりを守っている」93 %設問 1 1 「運動会や遠足、キャンプ、修学旅行などの学校行事は楽しい」96 %

多くの子どもたちが、様々な学校行事(授業、学校行事や学年行事、係活動など)を通して、 互いに力を合わせ、懸命に取り組んでいます。子どもたちは、それらの取組みや経験から色々な ことを学んでいます。

子どもたちが企画したり、製作したり、運営したりするなど、主体的かつ積極的に活動することも多くあり、そこには、子どもたちの工夫や頑張りがあり、喜びや楽しみだけでなく、達成感や充実感を感じている姿をよく見かけます。

それらの取組みの過程においては、子ども同士で揉めたり、折り合いよく進めることができなかったりなど、上手くできないこともあります。そのような場合にも、その問題や関係の改善、修復等、その方法やスキルを身に付けています。そのこともとても大切なことです。そのような経験を通して、様々なことを学びながら学校生活を送っています。

今後も、子どもたちの様々な成長に向けて、子どもたちと教職員が一緒になって築く学校生活の中で、子どもたちの成長に向けて、前向きな気持ちと行動が実現できるよう、懸命に取り組んでまいりたいと思います。

最後に、本年度のアンケート結果では、すべての設問において、肯定的回答が、昨年度の回答 結果より、同程度の良好な結果となっています。そのような回答結果については、保護者の皆様 の協力をいただきながら、学校と家庭が連携し、教育活動を進め、子どもたちも教職員との信頼 関係のもと、楽しく、懸命に取り組んでこれた表れだと感じています。

子ども同士及び子どもと教職員との豊かな人間関係の中で、充実した学校生活の中に「感動」や「発見」があり、「わかる」「できる」の喜びを感じることができる「楽しく、魅力ある学校」となるよう、そして、教育目標『よく学び、よく遊び、思いやりの心を大切にする菅原小の子どもたち』の実現に向けて、教職員が心を一つにして、ご家庭と連携し、教育活動の充実に取り組んでまいります。

保護者の皆様、引き続き、ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。